

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人こうのさと
② 事業名	竹林のスコレー、倉敷穂井田竹灯籠まつりプロジェクト
③ テーマ区分	番号：14
④ 補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 1回目 <input checked="" type="checkbox"/> 2回目 (経過措置)
④ 現状及び課題	<p>当法人で、令和5年4月に開校したオルタナティブスクール「竹林のスコレー」が位置する倉敷市玉島陶の穂井田地区は、一般的な中山間地域同様、過疎化と高齢化が進んでいる。現在、穂井田小学校は全校生徒が44名であり、廃校になる可能性も高く、地域の方々もそれを懸念され、移住促進のためにも、まちづくりを進められている。オルタナティブスクールとして活用する古民家の周りは、放置された田畑や竹林が多く、耕作放棄地、荒地となっている。特に竹林は、強風や台風で竹が倒れ、道を塞ぐこともあり、土砂崩れの危険性もある。間伐が必要となっているが、高齢化もあり担い手不在の状況である。令和5年度の竹灯籠まつり開催をきっかけに小規模であるが500-1,000m<sup>2</sup>の竹林の間伐を行うことができた。それによって地域の景観も改善し耕作放棄地を農業に適した田んぼにし、お米の収穫も行えた。竹灯籠まつりに関しては付資料1(竹灯籠まつり簡易報告書)、添付資料2(竹灯籠まつり振り返りシート)を参照</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">竹林の様子</div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">Before</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">令和5年度</div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">①</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">After</div>  <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; font-weight: bold;">放置竹林を整備して美しい竹林へ</div> </div> </div>

⑥事業目的	竹林の整備、竹資材の農業への活用と竹を用いた伝統行事の創生による地域の魅力向上
⑦事業内容	<p>※備中県民局補助対象事業について、位置づけ（狙い）、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを記載すること</p> <p><b>事業項目 1. 竹林のスコレー 倉敷穂井田竹灯籠まつり</b> 倉敷市玉島の穂井田地区（陶・服部地域）にて開催。令和5年4月に開校したオルタナティブスクールの周辺にて、3,000本の竹灯籠を配置し、出店を募り竹灯籠まつりを開催する（令和6年11月予定）。祭りのための竹灯籠の制作というポジティブな動機付けで、竹林を間伐し竹害を防止する。また、竹林と合わせて周辺の耕作放棄地を開墾し他世代が交流できる憩いの場（スコレーパーク）を創設する。若者や中心部に住む住民との交流を促すことで、穂井田地区の魅力を知ってもらおう新たな観光資源とする。準備から開催、開催後までの一連の流れをまとめ報告書を作成して、同じような環境にある地域、活動団体の方々と共有する。（別添資料1、2参照）</p> <p><b>事業項目 2. 竹灯籠作り&amp;竹細工ワークショップの開催</b> 令和6年11月に予定する竹灯籠まつりを彩る竹灯籠や竹細工を作るワークショップを定期的で開催する。竹灯籠づくりの講師を招き、オルタナティブスクールに在籍する子ども、地域住民、市街地の方など、どなたでも参加できる形で開催。自身の作品を祭りで展示できることをモチベーションに繋げて行う。</p> <p><b>事業項目 3 竹炭を農業用資材として活用する</b> 竹灯籠に使用できない端材、使用後の竹灯籠は竹炭として農業用に活用する。当法人で賃借しているオルタナティブスクール周辺の耕作放棄地を開墾して、そこに竹資材を投入、また提携農家に竹資材を共有し活用してもらう。</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応 竹灯籠まつりが行えない場合は、ギャラリーにて展示会を開催、竹林にて入場制限もしくは無観客で行いPR動画などを作成して周知を図る。</p>
⑧事業の条件及びアピールポイント	<p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>祭りに使用する竹灯籠を制作するというポジティブな動機付けで、中山間地域特有の竹害を防止するための間伐を行う。また、竹灯籠として使用した竹は、使用後農業用資材に転用して田畑に戻し、持続可能な農業と森林の管理を両立させる。また、地域の伝統行事として確立させることで、地域の活力を高め都市農村交流を促進できると考える。</p> <p>備中地域への波及効果 準備から開催、その後の報告書をまとめることで、同環境にある備中地域と準備や開催方法などを共有し、他地域でも同じようなお祭りを開催できるようにマニュアル化できる。中山間地域の竹害を防ぎ、地域住民が力を合わせて行える祭りを開催することで、地域の活力を生み、都市農村交流を促進できる。</p> <p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等 当法人では、対象地域で令和5年4月からオルタナティブスクールを開校しており、本年度も子どもたちの積極的な参加が行われた。また、休日に開催した竹灯籠づくりワークショップも一般の子どもたちの参加が多かった。定期的に行っている畑活やマルシェ、環境整備などのイベントにボランティアの参加もあり、高校生や大学生など若者の参加も多く見込まれる。また、野菜のプレゼント事業で、妊産婦、子育て世代との交流が多く、自然環境のよい当地域への移住も推奨できる。</p>

オルタナティブスクールのイメージ



⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法

※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載

- ・竹灯籠まつりの来場者数を測定する。新たな祭りを企画、実施することで地域の連帯を図り地域内の人的交流の活性化、都市農村交流を促進する。また、毎年行事として定着するように来年度の開催に向けても、企画、広報を行っていく。
- ・年度ごとにより多くの協力者を巻き込み竹灯籠の制作本数を増やしていく。
- ・間伐した竹林の面積、竹の本数、景観の作業前後の写真を撮影。玉島陶、服部地域の荒れている竹林を減らし、農業や交通の妨げにならないように管理するとともに、地域の景観を改善し、田畑、竹林を活用し多世代が交流できる憩いの場を創設し、地域の観光資源とする。

評価指標	評価方法	目標
1. 来場者数	人数	1,000人
2. 制作する竹灯籠	本数	3,000本
3. 制作運営に関わるボランティア人数	人数	100人
4. 整備する竹林や耕作放棄地の面積	平方メートル	4,000m <sup>2</sup>

⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法

※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記

事業参加者

倉敷穂井田竹灯籠まつりの周知が広がり、恒例行事として楽しむに人が増えて地域の魅力向上と活性化につながる。

評価指標	評価方法	目標
来場者数	人数	1,000人
制作運営に関わるボランティア人数	人数	100人

事業実施団体

オルタナティブスクールの魅力の向上と地域住民とのより良い関係作り、団体の周知がより広まる。

評価指標	評価方法	目標
利用者数	利用者人数	30名
Instagramフォロワー数	フォロワー人数	2,000名

備中地域

他の備中地域でも目的を共有する行事が開催され地域活性化が促進される。

	評価指標	評価方法	目標
		開催手法と報告書の共有	共有団体数
⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム） ※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載	事業参加者	地域に新たな行事を創生することで、地元住民の誇りや郷土への想いを育む。また、都市部住民との交流による地域の活性化が行われる。	
	事業実施団体	竹を用いた工芸や竹灯籠の制作などによる収益化の促進、団体のブランディングの確立につながる。	
	備中地域	他の備中地域でも目的を共有する行事が開催され地域活性化が促進される。	
⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業へ周知を広げ協賛を増やす。</li> <li>・竹灯籠まつり参加者から環境整備協力金を募る。</li> <li>・竹灯籠ワークショップで作成した竹灯籠の展示後販売やイベントでの設営による収入。</li> <li>・竹灯籠まつりでの屋台出店による売上</li> <li>・竹灯籠ワークショップの運営の継続と収益化。</li> <li>・竹細工、竹工芸品、竹を用いた道具などバリエーション、商品を増やして物販を促進する。</li> </ul>		

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の2回目は、経過措置規定を適用した上で、令和5年度事業に採択された事業を令和6年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業が複数の場合は、それぞれの事業ごとに内容を記入してください。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法」欄は今年度の活動計画及びその評価指標・評価方法を記入してください。「⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法」欄は事業実施により得られる今年度の利益や変化及びその評価指標・評価方法について記入し、「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化について記入してください。なお、事業が複数の場合は、⑨、⑩、⑪は事業ごとに分けて記入してください。
- 8 「⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）」欄は、「⑥事業目的」や「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 9 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

## 日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
2024 年 5 月	・ 玉島陶、服部まちづくり協議会にて、企画共有とスケジュール管理ミーティング	倉敷市玉島	
	・ オルタナティブスクールで筍堀体験などを通じて竹について学ぶ、間伐も実施	倉敷市玉島	参加者 10 名
2024 年 5 月	・ 玉島高校、総社南高校とミーティング。年間ワークショップスケジュールを共有。		
2024 年 6 月	・ 竹灯籠、竹細工作りの初回ワークショップを開催、 ・ 竹林の間伐も実施。	倉敷市玉島	参加者 10 名
2024 年 7 月	・ 竹灯籠、竹細工作りの 2 回目ワークショップを開催	倉敷市玉島	参加者 10 名
2024 年 8 月	・ 竹灯籠、竹細工作りの 3 回目ワークショップを開催	倉敷市玉島	参加者 10 名
2024 年 9 月	・ 11 月の竹灯籠まつりについて広報開始 ・ 玉島陶、服部まちづくり協議会にて開催前ミーティング。火災の予防、発生時の対応について担当者と協議。	備中地域 倉敷市玉島	
2024 年 10 月	・ 竹灯籠、竹細工作りの 4 回目ワークショップを開催、	倉敷市玉島	参加者 10 名
2024 年 11 月	・ 2024 年 11 月 9 日(土)、竹林のスコレー、スコレーパークマルシェ & 竹灯籠まつりを開催	倉敷市玉島	1,000 人の来場者
2025 年 1 月	・ 炭焼きワークショップの開催	倉敷市玉島	参加者 10 名
2025 年 1 月	・ 竹灯籠まつりの実施と竹灯籠と端材の農業資材転用に関する報告書を作成		
2025 年 2 月	・ 備中、中山間地域の地域振興団体へ報告書を配信、共有。	備中地域	

## &lt;記入上の注意事項&gt;

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例：〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。